

<評価項目と評価基準> H30年度学校評価

重点目標「確かな学力を育成する」					
具体的目標	評価基準	結果	具体的方策 (教育活動・運営活動)	評価基準	結果
進路に対する意識が高まった生徒80%以上	A: アンケート質問1に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問1に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	総合的な学習の時間やLHRにおいて、進路研究を充実させる。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			各学年の発達課題を明確にし、進路に対する手立てを講じる。		A
朝テストや小テスト、補習により、学習内容を理解したと実感した生徒80%以上	A: アンケート質問2に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問2に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	定期考査基準点に達しない生徒への指導を確実に行う。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			内容や方法などを工夫し、朝テストに取り組ませる。		A
			定期的に小テストを実施し、定着の状況をきめ細かく確認する。		A
英検、数検、漢検において、各学年の目標級への合格を目指す。	<英検> A: 各学年の目標級取得率が70%以上 B: 各学年の目標級取得率が50%以上 <数検> A: 各学年の目標級取得率が70%以上 B: 各学年の目標級取得率が50%以上 <漢検> A: 目標級取得率1年生70%以上、2年生60%以上、3年生50%以上 B: 目標級取得率1年生50%以上、2年生40%以上、3年生30%以上	C	各検定とも1年に1回は受検するよう働きかける。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			検定対策講座を各教科で実施するなど、合格に向けた支援を行う。		A
前期課程: NRTで偏差値60以上 後期課程: 進研模試で偏差値60以上 卒業時: 国公立大学合格者数3分の2以上、進学達成率100%に近づける。	<前期課程> A: NRTで偏差値60以上 B: NRTで偏差値55以上 <後期課程> A: 進研模試で偏差値60以上 B: 進研模試で偏差値55以上 <卒業時> A: 国公立合格者数3分の2以上、進学達成率90%以上 B: 国公立合格者数2分の1以上、進学達成率85%以上	B	模試に向けての指導を充実させる。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			結果を的確に分析・評価し、改善点を明らかにして対策を講じる。		A
			結果を踏まえた面談を実施し、個々の課題や成果を明らかにする。		A
授業内容を理解できている生徒の割合が80%以上	A: アンケート質問アにおいて「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問アにおいて「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	授業評価アンケートを年2回実施し、授業改善の課題を明確にするとともに、生徒の実態や要望を踏まえた授業を実施する。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			指導力の向上を目指し授業研究を全員が実施する。	A: 「十分に行っている」と答えた職員の割合が100% B: 「十分に行っている」と答えた職員の割合が80%以上	A
			授業態度の振り返りを定期的 to 実施し、望ましい態度を養う。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	B
前期生は2時間以上、後期生は3時間以上をめどとし、自分で計画を立て、その計画を基に学習を進められた生徒が80%以上	<前期課程> A: 一日あたり2時間の計画を基に学習に取り組むと答えた生徒の割合が80%以上 B: 一日あたり2時間の計画を基に学習に取り組むと答えた生徒の割合が60%以上 <後期課程> A: 一日あたり3時間の計画を基に学習に取り組むと答えた生徒の割合が80%以上 B: 一日あたり3時間の計画を基に学習に取り組むと答えた生徒の割合が60%以上	C	家庭学習記録による学習時間調査を行い、不足している生徒に対する個別指導を実施する。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			学年だよりを毎月1回以上発行し、学校生活、家庭学習等について、保護者の理解を深める。		B
前期課程 課題の提出率80%以上	A: 各学年の平均提出率が80%以上 B: 各学年の平均提出率が60%以上	B	各教科とも、質、量ともに、十分な検討の上、家庭学習課題を課すようにする。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			各教科とも、課題の提出に向けた働きかけを確実に行う。		A

<評価項目と評価基準> H30年度学校評価

重点目標 「豊かな人間性を育成する」					
具体的目標	評価基準	結果	具体的方策 (教育活動・運営活動)	評価基準	結果
目的の明確な充実した体験活動やボランティア活動を実施し、自らの成長を実感できた生徒80%以上	A: アンケート質問3に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問3に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	地域や保護者との連携を図り、活動を充実させる。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			事前・事後の指導を充実させ、活動の意義や価値を十分に生徒に指導する。		A
健康や安全に留意して生活できた生徒90%以上	A: アンケート質問4に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が90%以上 B: アンケート質問4に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が70%以上	B	時期に応じた適切な健康管理指導を行う。また、交通指導を徹底する。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
心身ともに安心して学校生活を送ることができた生徒80%以上	A: アンケート質問5に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問5に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	定期的な生活実態調査や教育相談及びスクールカウンセラーとの連携等を進め、生徒の心の安定を図る。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			マイノートや家庭学習記録を活用して、生徒理解に努める。		A
人権教育、同和問題及び道徳教育の充実を図る。 ・人権・同和問題の意識が高まった生徒の割合80%以上	A: アンケートで、「意識がとても高まった」「意識が少し高まった」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケートで、「意識がとても高まった」「意識が少し高まった」と答えた生徒の割合が60%以上	A	生徒対象の講演会や人権教育強調週間での学習を計画的に実施する。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
			職員研修会を年2回実施し、外部指導者の招聘等、研修内容の充実を図る。		A
学校生活上の課題を明確にし、その解決を図るため、生徒会活動や学級活動に主体的に参加した生徒80%以上	A: アンケート質問6に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問6に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	専門委員会、学年委員会、執行部等で、学校生活向上のための取組を企画し、各分掌で調整の上、計画的に実践する。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A
服装、登下校時間の厳守、さわやかなあいさつを行った生徒80%以上	A: アンケート質問7・8に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が80%以上 B: アンケート質問7・8に「はい」「どちらかといえばはい」と答えた生徒の割合が60%以上	A	職員の共通理解に基づく評価を継続的に行うとともに、指導強化期間を設けて指導の徹底を図る。	A: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が80%以上 B: 「十分に行っている」「だいたい行っている」と答えた職員の割合が60%以上	A